

### 貸家廣告

白銀町 勤人向 二間 十圓  
同 同 同 同  
同 商店向 二間 十八圓  
同 同 六間 三十圓  
同 醫院事務所向 五十圓  
同 旅館向 二階建 九十五圓  
北白銀町 勤人向 間 五圓半  
仲町 同 間 四圓  
同 同 間 十圓  
同 同 間 五圓  
同 商店向 間 十圓

### 加藤營業所

白銀町 (電話三三二番)

小町紺屋町(縣社通り)  
美味評判 **イワキ食堂**  
はやくとろまる  
オの部電話四六〇番

着尺モスリン  
江戸好中形  
窄手拭中形  
絹小紋

龜田屋

正確な寒暖計と  
体温計は親切第  
一の山野邊藥  
局へ  
平町五丁目角

# 常盤 毎日新聞

定部金貳錢 廣五號十二  
一ヶ月卅錢 貨字詰一行  
郵税五厘 料五十錢

休刊日 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五  
日祝日ノ翌 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

本社下町番地 (電話六三〇番)  
印刷所 常盤毎日印刷行

刊夕日四十二月六

### 常盤論壇

#### 人口調節と移民の價值 (八)

布川 靜淵

或は大規模計畫を夢想して年々増加の總數を廻送とせんか、一日二千人宛送るとして一ヶ月六萬人、一年三百六十五日七十三萬人を算して尙ほ餘りある、其輸送力と財力とを如何せん。遠隔の地に移民する場合は須らく財政状態を顧慮すべきである。されば自然増加の幾割を標準とすれば、以て我が人口調節の効を奏すとするか、昨一年の移民數一萬二三千人は餘りに

少數に過ぎるを以て盛んに之を奨励すべしと云ふも、單に聲明と論議に止まりて殆んど何等見るに足るものなきは畢竟内は移民するまの窮乏に迫らず、或は一一般に移民を感ずる自覺を起さず外は移住すべき適當の地なく、或は之を知らざるの致す所其の何れかであらう。若し移民にして人口調節上重要な價值あらば之を奨励するに躊躇するを要せぬが幾多移民會社の何れも姿を隠くせるは失敗せる證據である。之を奨励して移住せしむるには内地にあるよりも多大なる利益を得るる所でないならばならぬ。

北米への出稼きは利益ありしを以て何等の奨励なく否な多年の間面白からぬ排斥の氣運ありしに拘らず、滔々として渡航するもの断へなかつたのであるが、茲に禁止された。南米事情は漸次報道せられ、之が奨励盛なるに拘らず、萎靡振はざるは抑々何に基因するとなすか。更に北滿洲と云ひ西伯利と云ひ將た南洋と云ふも不成績なるは如何

(つづく)



### マイズ蠅取粉

無害 人畜  
ホンの少いで  
一たまりもなく死ぬ

蠅をコップに入れ紙にて蓋を爲し穴を明け此蠅取粉少量を落し込む時は蠅がキラキラ舞ひして斃れる有様が良く判ります又蠅取機に振り掛くると同様です

荒物雜貨賣藥等の各商店にて販賣します

ナウハカ ガシアノダ  
イラ ウミリミニ  
ナンキンムシ

### 初夏に

御注文申込次第 店員參上

各種タイル  
テラコッタ  
煉瓦  
衛生用陶磁器

産地「伊賀」焼  
特約店  
**上武屋茶店**  
平町三丁目

### 初夏に

向く特く價品

紹羽織……五圓五十錢  
全……………七圓  
白綿……………七十五錢  
繪羽浴衣地三圓五十錢  
手拭中形 八十錢

最モ買ヒヨイ店  
合名 會社  
中野吳服店  
電話六十七番

### 御進物

嶺南の鹽屋

電話十番  
嶺山屋

廿五日より差替

紋十郎主演  
時代劇 **曲者は誰れ** 前篇

濱田格、杉村千恵子主演  
現代 **ダイヤの光** 全卷

活劇強 **カエルモ** 第九第十篇

市右衛門第一回入社作  
時代 **黒髪地獄** 前篇

右太衛門が恩師右衛門の了解を得て力演した超傑作にて或る易者の豫言を信じ一人の娘が不思議な運命に陥入り遂に恐るべき女賊となる迄の経路を仕組んだものである

帝キネ 有聲座  
電話四四六番

看護婦派遣の求めに應ず

平町南町  
**平看護婦會**  
電話三〇七番

### 外科専門

入院應需

**上田外科醫院**  
平町南町  
電話一二九番

書生至急入用

### 原齒科醫院

院長 原精一  
副院長 東京齒科醫學士 石田仁

平町土橋通り電話三二番

○雨近キ入梅期ニ  
オ子サン方ノ  
通學ニ便利デ  
經濟デ然モ堅牢ナ……

### 防水マント

尺八寸 二、四〇〇  
尺七寸 二、六〇〇  
尺六寸 二、八〇〇  
尺五寸 三、〇〇〇  
尺四寸 三、二〇〇  
尺三寸 三、四〇〇  
尺二寸 三、六〇〇  
尺一寸 三、八〇〇

女學生用モ有リマス

**に鶴屋商店**  
電話百四十番

開店御披露

### 美術表具

玉成堂  
平町南町  
元平陽女學校跡

### 最後の俸給袋を手にして感あり

#### 去り行く郡書記連の哀傷 諸行無情の琵琶歌

郡役所廃止も後一週間内日曜が一日正味六日となつた石城郡書記連は廿一日郡書記として最後の俸給を手にして封筒の中を覗いて

### 縣廳入り確實な人々

#### 幸運な郡書記は誰々か

郡役所と共に石城郡役所の郡書記達が着々先は果して如何に、先づ水野郡長は功成り名遂げた故を以つて退職の意を固め武井上席は休職の恩命に浴して大いに閑日月を樂しむべく、大越郡視察は未だ身の振り方が定まつて居ない、縣廳入り確實との内報を握つて居る

### 御眞影奉還

#### 水野郡長出張

石城郡役所にては郡廢の爲め御眞影を奉還する事となり本日午後六時半驛下り列車にて水野郡長奉戴し内田書記隨行出張した

### 苦境切抜け

#### 一策として 賃金値下げ

石城郡下の各炭鑛は維持困難の折柄生産費を引下げるより外ないと言城、入山、好間、三井、福島等の各炭鑛ではトシ當り採炭費を平

### 問近く平町に... 流れ出す賞與の金

#### 各家庭の恵比須顔

本年上半期分の賞與はなしは先づ社是として年々歳々極めて堅實な配當振を見せられてる磐炭王國事資本金一千七十五萬圓の磐城炭鑛株式會社から始める、同社では

### 前期の配當に於て

も例の通り綿々たる餘裕を見せ優に割配當を得る實力を有し乍ら敢て八分の配當を爲した、同時に大小社員の手に渡つた賞與金がざつと九萬圓之れが購買慾を抑制し切つて居た各社員の手から宛然堤防決潰の

### 奔流の

平町附近商店、料理店その他へ流れ出すのであるから磐炭王國を中心にとどきりなつかしい好景氣が吹き廻るのも寧ろ當然の現象と



### 古蚊帳洗濯法

日ならず蚊帳が汚れる様になりました時節節洗濯をして用ゆる事も心得て置くべ

### 春繭輸送

#### 取扱の状況

平驛貨物取扱所を通じて見た平町地方春繭の出廻りは去る十六日から逐次増加しつゝあり二十五日頃最盛期と觀られてゐる而して十六日より二十二日に於ける同所取扱ひ数は小口扱ひが四萬百三十六斤貸切十四車百五十五噸昨年同十三日から出廻り二十二日迄の合計は小口扱ひ三萬五千五百七十六斤貸切四百七十一噸で前年度は一齊に出廻つたが本年度は頗る不定で天候其他の影響と觀られてゐる尙廿三日平町市場現在の相場は

### 四倉市場の繭初取引

#### 茨城縣是

既報石城郡販賣利用組合四倉繭市場は昨二十三日午前八時から開所したが當日の初取引は百餘貫之が金額千五十圓で大浦村早川鐵藏の白繭十圓五十八錢黃繭は同村片寄勝之助の九圓六十二錢が最も高値を呼び仕向き先は茨城縣多賀郡松原町茨城縣製糸會社である

### 耳の兎

#### 横濱市下町の外人

時頃戸毎に覗き込んでニヤニヤ笑ふ七三耳隠しの若い女がゐた、右は府下大崎木橋一五九富豪谷田庄太郎長女文子(仮名)で幼い時か

### 懲役五ヶ月

#### 平支部で言渡

去月十七日午前四時頃平町二丁目旅館佐野屋事腰塚小屋吉方に於て宿泊人の仙台市東一番町雜貨商佐々木キヨ(五)に出及庭丁を突つけ金側懐中時計二箇價格九十圓を強奪逃走し同日午後七時頃同郡湯本町飲食店櫻泉亭方抱酌婦内縁の妻茨城縣多賀郡北中郷生れ柴田ヨシ(三)方に潜伏中逮捕された

### 景氣の

#### よい話である

るが尙この外入山、三井、き一つでせう。念入にしましたら布一枚を取つて洗ふのですが、へりの赤い布さいとれば丸洗ひでもかまいません、まづ洗濯ソーダを湯にとかしてその中に蚊帳をつけこみ、よく洗ひ二三度ゆすいで竿にかけ水をきる別に鹽基性の染料「青竹」をたらひに隨意の濃

### 基督教講演會

#### 平町

材木町バプテスト教會にては廿六、七の兩夜境野遜氏の基督教講演會を開くと

### 苗代品評會

#### 石城郡

上遠野入遠野兩村農會聯合苗代品評會は廿四日午後一時上遠野小學校に於て舉行郡より野村技師出張の筈

### 常磐片々

流れ出す賞與の金、ジュウジブ(この音焼け石に水の意味をラヂオで放送)

縣廳へ骨を拾はるゝ石城郡役所の書記連、筋張つた首の根をなでながらヤレ

今度の郡廢は孫子の代迄すまじきものが宮つかへである事の實物宣傳

各炭鑛が苦境切抜けの爲め坑夫の賃銀値下げを申合す坑夫側では三度の食を二度に減らす事でも申合すか